

小学校での米の栽培体験を通した食育

【活動グループの紹介】

東京医療保健大学は、全国に7か所のキャンパスと施設を有し、最先端の医療を学ぶことができる大学です。今回は、医療栄養学科のキャンパスを訪問しました。この学科の学生の多くは、卒業後学校や病院の管理栄養士として活躍しています。齋藤ゼミは、食育をテーマとしており、その中でも特に「小学生の食に対する興味関心の向上」に着目した活動を行っています。ゼミ生が主体となって活動し、人手が必要な際には、学科全体から希望者を募り、取り組んでいます。

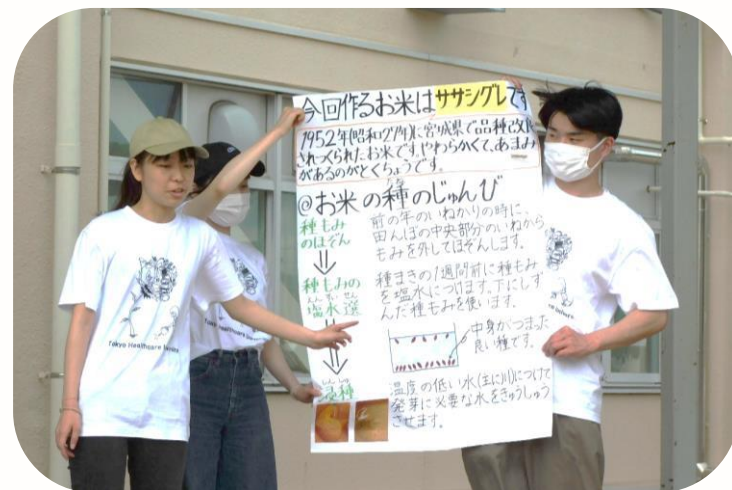
<https://www.thcu.ac.jp/> ←学校の詳細はこちらから！

【取組の紹介】

米の栽培において、全ての工程ではなくその一部を体験し、そのほかの工程は写真や動画、圃場からの中継等を交えながら行うことで、児童の食に対する興味関心の向上をはかる取組を行っています。小学4年生が対象で、児童は播種から育苗を行い、塩水選など田植え前の作業過程を学びます。そして児童が育てた苗の成長過程をゼミ生が出前授業や田んぼからの現地中継を通して共有します。そして、収穫したお米は、学校の給食で提供されます。「知る」「作る」「食べる」という一連の流れを通して、児童は食に対する興味や関心を抱くことが可能となります。将来的には、取り組みの拡大によって、学校給食の残飯量の減少や児童の好き嫌いがなくなることにつながることを期待している取組です。

グループ名

東京医療保健大学
医療栄養学科齋藤ゼミ
(東京医療保健大学)



Q1 チームのメンバー構成は？



基本的には、ゼミ生が中心となって活動しています。田植えや稲刈りのような、人手が必要なときはゼミ生以外からも参加者を募ります。初めて農業を体験する学生が多いため、悪戦苦闘しつつも楽しみながら活動しています。

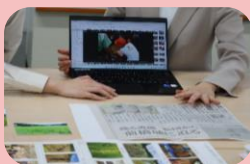
東京医療保健大学
医療栄養学科齋藤ゼミの
みなさんに聞きました！



伝えたい！！
いつものごはんに
たくさんの想い

Q3 活動をする中で大変なことは？

圃場が遠方にあるため、移動が大変です。また、出前授業についても、規模を拡大する中で全校対面で行うのが難しくなっています。今後はオンライン授業等も活用しながら、活動の幅を広げていきたいと考えています。



Q2 出前授業の際意識していることは？

漢字の学習状況に気を付けながら、「何を覚えてほしいか」が伝わるように資料を作成し、授業をしています。授業で伝える内容は、まずは自分達で調べますが、分からない時は、提携先の農家さんに聞いています。



Q4 今後の抱負を！

この取り組みをに対する児童のリアクションがとても良いので、お米に限らず他の様々な食物について食育を実施していきたいです。同時に、小学校4年生に限らず、全学年で取り組みを行うことで学校全体の食育に貢献したいです。



取材を終えて

10月中旬「東京医療保健大学医療栄養学科齋藤ゼミ」の皆さんへの取組取材のため、同校の世田谷キャンパスを訪れました。医療栄養学科では医療や保健の最前線で活躍する医療現場に強い管理栄養士の育成を目指しており、教室内には食品サンプルとともに様々なメニューの栄養成分表が展示されていました。ラーメンやカレーなど普段我々がよく口にする人気メニューもあり楽しさを感じた反面、摂取カロリーや栄養バランスについて考えるいい機会にもなりました。

そのような環境下で、食育について学んでいる学生さんの「給食の残食を減らすのにはどうすればよいか」という思いが今回の取組のきっかけの一つになったとのことでした。食ロスの削減を推進する我々にとっても関心の高い取組内容であり、特に取組対象である小学生に対してどのように興味を持ってもらうかという点はとても参考になりました。また、少ない人数の中で、教育機関や農家など多方面を巻き込んだ取組を進められており、行動力や調整力の高さを感じることができました。

取組期間としては浅く、まだ試行錯誤をしながら進めているとのことでしたが、食育に関わる素晴らしい取組のため、今後の動向に注目していきたいと思います。当日はお忙しい中ご対応いただきありがとうございました。

